

# ケイリー・グラント

Cary Grant

**生年月日** 1904/01/18

**出身地** イギリス／ブリストル

**没年** 1986/11/29

ジェニファー・グラント（娘）

**関連人物** ダイアン・キャノン（元妻）

ベツィ・ドレイク（元妻）

## 【バイオグラフィ】

■本名はArchibald Alexander Leach。父は工員で母が10歳の時家出。幼い時に劇場の舞台裏を見学して演劇に興味を持つように。13歳でアクロバットとコメディを披露する一座に入り、18年にその一座と共に渡米。公演終了後はアメリカに残り下積み生活を送る。やがて幾つかの舞台に立つようになり、パラマウントと契約。32年に「その夜」で映画デビュー。その年には主役に抜擢されたようになつた（この頃ランドルフ・スコットと同居していたため、同性愛疑惑が流れた）。36年、映画会社との専属契約が一般的だったこの時期にフリーの身となつたが人気は衰えず、「新婚道中記」、「赤ちゃん教育」、「フィラデルフィア物語」と代表作に恵まれ活躍。「愛のアルバム」と「孤独な心」でアカデミー主演賞候補にもなつた。その後53年に“ケイリー・グラントであることを忘れない”と発言して引退。が、ヒッチコックの説得によって「泥棒成金」で復帰。以降は「めぐり逢い」や「北北西に進路を取れ」、「シャレード」と充実した演技力を發揮して秀作を残した。その傍らでは59年に独立プロを設立。「ペティコート作戦」を製作してヒットもさせた。そして66年の「歩け走るな！」を最後に引退。時折映画関連のドキュメンタリーなどに姿を見せていた。70年にはアカデミー名誉賞を受賞。しかし同性愛の噂は最後まで付きまとい、80年にはTVショーでネタにしたチェヴィー・チエイスを告訴したこともあった。私生活ではベツィ・ドレイクやダイアン・キャノンなど、計5人と離婚。キャノンとの間に生れた一人娘のジェニファーは後に女優となつた。86年、アイオワ州の講演先の劇場で脳卒中のため急死した。

## 【フィルモグラフィ】

歩け走るな！ (1966)	出演
がちょうのおやじ (1964)	出演
シャレード (1963)	出演 :ピーター・ジョシュア
ミンクの手ざわり (1962)	出演 :フィリップ・シェイン
芝生は緑 (1960)	出演 :ヴィクター・ライオール
ペティコート作戦 (1959)	出演
北北西に進路を取れ (1959)	出演 :ロジャー・ソーンヒル
月夜の出来事 (1958)	出演 :トム・ウィンタース
無分別 (1958)	出演
よろめき休暇 (1957)	出演
めぐり逢い (1957)	出演 :ニッキー
誇りと情熱 (1957)	出演 :アンソニー
泥棒成金 (1955)	出演 :ジョン・ロビー
モンキー・ビジネス (1952)	出演
うわさの名医 (1951)	出演
危機の男 (1950)	出演

僕は戦争花嫁 (1949)	出演
恋はかくの如く (1948)	出演
ウチの亭主と夢の宿 (1948)	出演
気まぐれ天使 (1947)	出演
独身者と女学生 (1947)	出演
夜も昼も (1946)	出演
汚名 (1946)	出演
毒薬と老嬢 (1944)	出演 :モーティマー・ブルースター
此の蟲十万弗 (1944)	出演
孤独な心 (1944)	出演
ミスター・ラッキー (1943)	出演 :ジョー・アダムス
恋の情報網 (1942)	出演
希望の降る街 (1942)	出演
断崖 (1941)	出演 :ジョニー・アイガース
愛のアルバム (1941)	出演
ヒズ・ガール・フライデー (1940)	出演
フィラデルフィア物語 (1940)	出演
明日への戦ひ (1940)	出演
ママのご帰還 (1940)	出演
コンドル (1939)	出演
ガンガ・ディン (1939)	出演
赤ちゃん教育 (1938)	出演 :デヴィッド・ハクスリー
素晴らしき休日 (1938)	出演
富豪一代 (1937)	出演
新婚道中記 (1937)	出演
天国漫歩 (1937)	出演
間奏楽 (1937)	出演
結婚の贈物 (1936)	出演
暁の爆撃隊 (1936)	出演
アメリカの恐怖 (1936)	出演 :ダニー・バー
男装 (1935)	出演
濁流 (1934)	出演
鷲と鷹 (1933)	出演
わたしは別よ (1933)	出演
妾は天使ぢゃない (1933)	出演
不思議の国のアリス (1933)	出演
七月の肌着 (1932)	出演
お蝶夫人 (1932)	出演
ブロンド・ヴィナス (1932)	出演
悪魔と深海 (1932)	出演 :ジャッケル
明日は晴れ (1932)	出演
我等は楽しく地獄へ行く (1932)	出演
その夜 (1932)	出演